

【主題名】その人のために
【教材名】最後のおくり物
(光村図書 小学校6年)



発行
令和3年3月
中部教育事務所



授業者 矢野 智一 教諭 (津野町立葉山小学校)

内容項目 B-7 【親切、思いやり】

本時のねらい ジョルジュじいさんやロベエヌの姿を通して、相手の状況を把握し、相手のためになる行動を考え、実行することのよさに気付かせ、思いやりの心をもち、親切にしようとする心情を育てる。

指導の要点 自分がどうすることが相手のためになるのかについて考えさせる。相手のことを考えると、相手の状況や立場を知り、本当に相手のためになるか考えたうえでできる限り最善を尽くし、その人のために行動することであると気付かせたい。

授業を通して引き出したい児童の考え

- ◇思いやりとは、相手の力につながる行動ができているということ。
- ◇相手のためになるように、精一杯 手助けしていくことが大切。
- ◇すごいことはできなくても、自分のできることを考えて手助けしていくことが大切。
- ◇自分が経験したことを考えながら、それを生かしてその人のために行動する。
- ◇最善を尽くすことで、相手が幸せになる行動をとりたい。

本時の展開

学習活動と主な発問	児童の反応
<p>1 親切についてのアンケート結果を知る。 ○なぜ友達はこのような親切をしてくれたのだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達だから見て見ぬふりができない。 ・友達だから助け合えば、仲も深まるから。
<p>2 ジョルジュじいさんの思いやりについて考える。 ○どうして、ジョルジュじいさんはロベエヌにこのような行動ができたのだろう？ ◆なぜ、名乗らずロベエヌに月謝を渡したのだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ロベエヌのやる気を感じ応援したいと思ったから。 ・俳優になりたかった夢をロベエヌに託したから。 ・これまでの努力を無駄にさせないと思ったから。 ・ロベエヌが遠慮しないように考えたから。
<p>3 親切にされたロベエヌの思いについて考える。 ○ロベエヌはジョルジュじいさんの思いやりを受けてどんなことを感じたのだろう？ ◆どうして「息子です」と言ったのだろう？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分を支えてもらったこと、気を遣ってもらったことに感謝していた。 ・自分が必要なものをサポートしてもらったことに気付いた。自分も同じようにサポートしたい。
<p>4 「思いやり」について考える。 ○はじめに自分たちが考えていた思いやりと2人の思いやりで違うところはあるだろうか？ ◆相手を思いやったつもりが嫌な思いをさせるときもある。そうならないためにどんなことが大切だろうか？ ○今日の学習を通して考えたことを書きましよう。 ・学習前と学習後の自分の考えの変容について書かせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・違いはないと思う。相手のためにするという意味では違いはない。 ・自分のできることを相手のためにすることだと思う。 ・相手の状況を見て判断していくことが大切。

授業づくりのポイント

【教材研究会での論点】

！児童の思考の流れを意識した「発問」のブラッシュアップを。
！主題に迫るための「問い返し」の工夫を。

1 自分自身との関わりで考えるための工夫

- ◆アンケートを活用し、これまで行った親切な行為を想起する。
・導入でこれまでの親切な行為と親切な行為を行う理由について考える。
- ◆これまで（授業前まで）考えていた「思いやり」と授業を通して考えた「思いやり」を比較する。

「思いやり」に対する自己の考えの変容に気付かせる

2 多面的・多角的に捉えるための工夫

- ◆親切にした側、親切にされた側の両方の視点から「思いやり」について考える。



○どうして、ジョルジュじいさんはロベエヌにこのような行動ができたのだろう。
(問い返し) →なぜ、名乗らずロベエヌに月謝を渡したのだろう？

・相手の立場や状況を考え、気遣いをさせない思いやり



○ロベエヌは、ジョルジュじいさんの思いやりを受けてどんなことを感じたのだろう。
(問い返し) →どうして家族でもないのに「息子です」と言ったのだろう？

・思いやりに対する感謝と家族のような存在だと思ふ気持ち

3 主題に迫るための工夫 ◆主題に迫る問い返し(表面的・抽象的な考えからさらに深める)

T: 自分たちが考えていた思いやりと2人の思いやりで違うところはあるだろうか？

C: 相手のためにという意味では違いはない。

T: 相手のためについて、どうということ？

C: 自分のできることを相手のためにすること。

問い返し

T: 相手を思いやったつもりが嫌な思いをさせる時もある。そうならないためにどんなことが大切にする？

C: 自分勝手な押しつけではなく、相手の状況を見て行動すること。

C: 思いやりは、知らない人でも関係をつくることできる。

評価

- ・2人の立場に立って考えることで、思いやりについての考えを広げている。
- ・相手のためになるような思いやりについて自分なりに考えをもち、最初の考えと比較しながら考えている。

児童による振り返り(一部抜粋)

思いやりとは相手の悩みや困ったことを自分のことのように考えることだと思った。自分も友達の思いを分かちあげられるように思いやりをたくさんもちたい。

自分はよくても相手からするといやな気持ちになっているかもしれない。相手の立場になって考えることは大切だと思った。

相手の様子や表情を見ながら、つらそうだったら声をかけて相談のつてあげたい。そうすれば、相手も少しは楽になると思う。

相手の立場に立った「思いやり」

ロベエヌ達は、初めて会って思いやりを通して関係が深くなっているから、自分たちとは違う。地域の人など初めて会った人でも心を開くことが大切だと思った。

思いやりとは自分の精一杯をつくすことだと思う。それがその人のためにつながれば、たくさん感謝されその人との仲を深めることができると思った。

思いやりをすることで人の気持ちが変わらと思う。だから、身近な思いやりをしていきたい。

「思いやり」がよりよい人間関係を築く

板書

The board notes are organized into several sections:

- 思いやり (Thoughtfulness):** Discusses the importance of understanding the other person's situation and acting accordingly. Mentions 'mutual support' and 'helping each other'.
- 最後のおくり物 (Last Gift):** Focuses on the characters Joergu and Robee. Notes on Robee's dream of becoming an actor and how Joergu supported him by paying his rent.
- 振り返り (Reflection):** Contains student reflections on the meaning of thoughtfulness and how it can be practiced in daily life.

まとめ

提案 ▶▶ 事前研究の在り方「教材研究ワーク」による教材分析

- 指導の要点 ・ 引き出したい児童生徒の考えを明確に持つこと。
- 指導の工夫 ◆ 評価の視点 (自分自身とのかわり/多面的・多角的) から指導の工夫を考える。
◆ 主題に迫るための発問を吟味 (深まる問い返しや揺さぶりの着想) する。

提案 ▶▶ 事後協議を深めるための視点「授業研究ワーク」による授業検証

- 指導の工夫 (◆) は効果的に働いたのか ◇ 児童の反応 ◇ 反応を引き出した教師の手立て

協働的に学び合う講座として